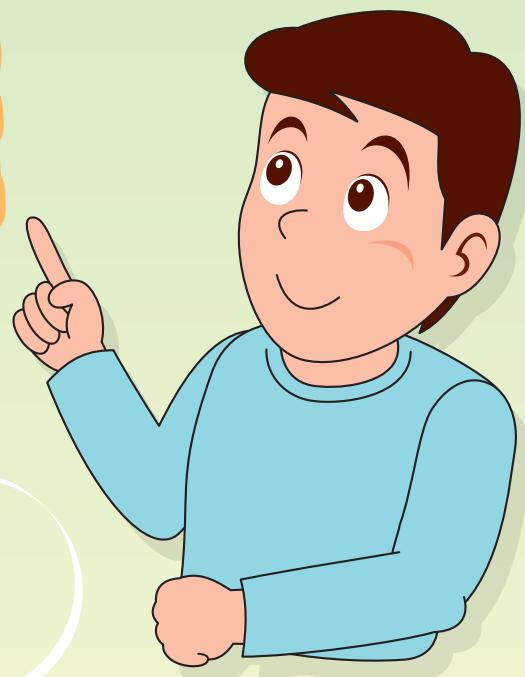
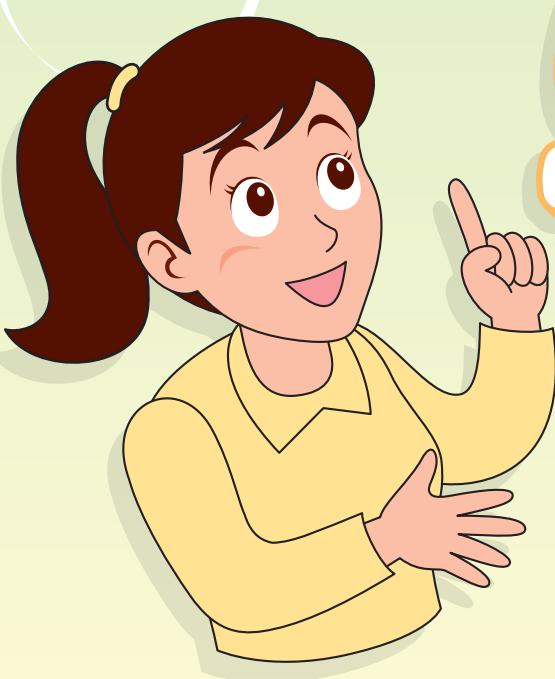


みんなで考えよう  
『男女共同参画社会』

男女がともに輝く  
社会をめざして



家庭編

# 家庭の中で考えよう



## 子育てはお母さんの仕事なの？

「女性は子どもを生むから子育ても女性がすべき」とか「男性は外で仕事をしているのだから子育ては女性がすべき」などと、性別で役割を分担していませんか？大切な子どもを育てるのだからお互いの協力が必要だと思うのですが……。

“男は外で働き、女は家庭を守る”……これまででは男性、女性のあるべき当たり前の姿だとされてきました。でも、よく考えてみると何か違和感ありませんか？

国では、「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を担うべき社会」の形成が21世紀のわが国の社会を決定する最重要課題と位置づけられています。

しかし、現実は、女性が家事の多くを担う一方で、男性は職場中心の生活にかたより、家庭や地域との関わりが希薄になる傾向があります。共働き家庭でも、男性の家事参加率は低く、働く女性は“仕事も、家庭も”と過重な負担を負っていることも少なくありません。

男性も家庭や地域の一員として職場と家庭・地域とのバランスのとれた生き方ができるような環境づくりが必要です。

(久御山町男女共同参画プランより)



- ◆「女のくせに」「男のくせに」とよく言われる。
- ◆「男は仕事、女は家庭」と性別で役割を考えてしまう。



# まず、見直してみませんか？ 自分の考え方、行動を・・・

「男女平等？そんなこと当たり前だよ」と思っていても、客観的に見ると実はまだまだだったりするもの。

## ●自分でも気付かないあなたの心をチェックしてみませんか。

- ① 夫を「主人」と呼ぶのは当然だ。
- ② 妻は当然夫の家の墓に入るのだ。
- ③ お茶は妻に入れてもらっている。
- ④ 男の子より女の子の言葉づかいが気になり、厳しく注意する。
- ⑤ 「女のくせに」「男のくせに」と叱ることがある。
- ⑥ 子どもが小さいうちは母親が家にいて子育てするべきだ。
- ⑦ 父親はいざというときにだけ育児に登場すればよい。
- ⑧ 家族の休む休日、女性（妻）はかえって忙しい。
- ⑨ デートの費用はいつも男性が持つべきだ。
- ⑩ 男性が人前で泣くのはみっともない。



## ●①～⑩でチェックした数はいくつありましたか？

### 0～2点 あっぱれ！

性別にこだわらず好きな生き方ができる家族ですね。きっと家族のメンバーが協力し、努力して男女平等の関係を築きあげてこられたのでしょう。

### 3～5点 あともう少し！

家庭の中に、性別による決めつけや、男性優位の傾向がまだまだたくさんありますね。不満や疲労のサインが点滅しています。家庭が男性にとっても女性にとっても同じように居心地のよい場になっていますか？

### 6～10点 ガンバレ！

性別にこだわりすぎて男女平等への道を渋滞させている、と出ています。このままだと、「大きな迷惑」になります。進路変更が必要です。



#### ☆仲良く夫婦で子育て☆

子どもを育てるのは、父親と母親の両方に責任があります。だから子育ての楽しさや苦労をわかち合って、楽しい家庭を作りたいですね。

#### ☆自分らしく生きる☆

性別で役割を押しつけるのではなく、お互いの個性や能力を尊重してバランスよく協力すべきですね。

# 男女共同参画社会って何だろう？

私たちは、これまで男らしさ・女らしさは生まれながらのものであると思っていました。

しかし、そのことを窮屈に感じている人がいるとしたら？性別にこだわらず、一人ひとりが個人として輝いて生きることができる社会のことを「男女共同参画社会」といいます。

近年、女性の意識や行動は大きく変わってきており、就労をはじめ、社会生活への参加は目覚しいものがあります。しかし、性別による固定的な役割分担意識や古い社会制度・慣行など男女間において不公平が生じることもまだまだ多いようです。

「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という、性別による固定的な役割を押しつけるのではなく、男女がお互いの人権を尊重し、それぞれの個性と能力を十分発揮して、あらゆる分野へ参画できる社会づくりが必要なのです。

## 久御山町住民意識調査より

久御山町の人々は、男女共同参画社会についてどのように考えているんだろう？

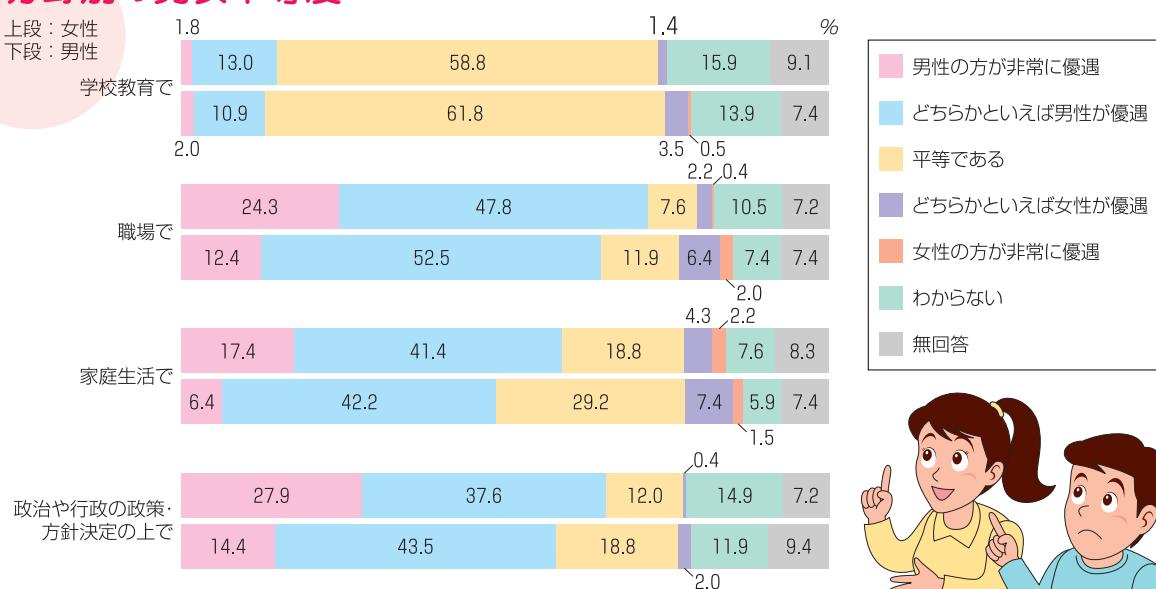
### 1 「男は仕事、女は家庭」という考え方について



「男は仕事、女は家庭」という考え方に対する回答割合を示す棒グラフです。女性では、「どちらともいえない」が最も多く、次いで「同感しない」、「同感する」、「無回答」の順位です。男性では、「どちらともいえない」が最も多く、次いで「同感しない」、「同感する」、「無回答」の順位です。

「同感する」は男性で高く、「同感しない」は女性が高いことがわかります。

### 2 分野別の男女平等度



「学校教育で」では男女平等を感じているものの、それ以外すべての分野で男性より女性の方が“男性優遇”を感じています。



久御山町教育委員会 KUMIYAMA TOWN BOARD OF EDUCATION

〒613-8585 京都府久世郡久御山町大字田井小字浜代1・2番地 社会教育課 TEL:075-631-9980/0774-45-3918 FAX:075-631-6129